

## 2012アートマイル報告書

日本学校名 [ 海星学院高等学校 ] 担当教諭名 [ 山根 洋・市川 栄作 ] ( 2年 63名 )  
 交流相手国 [ インドネシア ]  
 海外学校名 [ SMAN21 High School Surabaya ] 担当教諭名 [ Husnul Muchtarajah ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合	国際理解	20

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Folk Tail
絵に込めたメッセージ	「民話」をもとに協同学習をすすめ、日本とインドネシアが伝統的に大切にしてきた価値観を理解し合い、両者の根底に「自然を尊重する心」を発見した。この喜びを表現しようと考へ、絵を作成した。それが少しでも伝われば嬉しい。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手国の文化、言語に対する生徒の興味、関心が高まった。</li> <li>・英語を母国語としない者同士が英語を使って交流することで、生徒の教科への興味関心が高まった。</li> <li>・草の根レベルでも海外の高校との交流チャンネルが広がった。</li> <li>・強い達成感を味わい、生徒の自信につながった。</li> <li>・相手国の環境意識の高さに生徒は刺激を受けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラム、メール、電話などのツールを駆使しつつも、相手の活動をリードすることが、しばしば困難であった。その都度、事務局がサポートして下さった。</li> <li>・スカイプの回数を増やし、協同学習を深化させること。</li> </ul>

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内廊下に作品を掲示</li> <li>・学校便り(地域の諸団体、近隣の教育機関に配布)、学校HP、新聞による広報</li> <li>・室蘭市長を表敬訪問</li> <li>・市川は、複数のユネスコスクール研修会やユネスコ地域イベントなどで事例発表。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や近隣の中学校の教員から評価を受けた。</li> <li>・生徒、教員から次年度の2年生にも継続してほしいとの声が多い。</li> <li>・新入生登校日に、廊下に掲示された作品を見て、新入生とその保護者が目を輝かせていた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月	・研修会に教員2名参加(7月下旬) ・活動内容発表 ・役割分担、班編成(地域紹介作成班、学校紹介作成班、英語翻訳班、写真撮影班、スカイプ班、インドネシア調査班、美術班)	・8月上旬に教員でフォーラム交流 ・活動内容とユースサミットについて生徒に案内し、大いに興味を示す。ユースサミットの希望者に対して、作文指導開始。 ・希望調査をもとに班編成、各班からリーダーが選出され、修学旅行(9月)後のスカイプを前提に、活動開始。	総合
情報収集	8月 9月	・調査に関する各班が活動開始 ・テーマについて検討開始	・9月下旬にユースサミット参加決定し、2年生の士気が高まる。	総合
テーマ検討	11月	・学校紹介・テーマ・デザインについてフォーラムで提案。 ・事務局の援助もあり下旬にスカイプ。テーマの調べ学習を発表し合う。	・10月中旬に相手校がフォーラムに学校紹介をアップし、大いに盛り上がる。 ・ネット環境が厳しい中でもスカイプが大いに盛り上がり、制作にスムーズに移行。	総合
制作	12月	・短期集中で絵を作成、その様子をフォーラムにアップ。無事完成。 ・代表生徒が相手校を訪れ絵画を渡す。この様子を1月に学年に報告。	・スカイプの成功で、美術班以外の生徒も制作に積極的に参加。 ・2年生は、代表生徒の報告を注意深く、聞いていた。	総合
鑑賞	3月	・事務局の働きかけもあり、相手校の絵画が完成。3月中旬に2年生で鑑賞会。その後、廊下に掲示し、全校生徒が鑑賞。	2年生全体の面前で開封され、絵の完成度に驚き、喜びと達成感を共有することができた。裏面にも温かいメッセージが多数あり、生徒は丹念に鑑賞した。	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	3	5・④・3・2・1	多くの民話・おとぎ話を調べ、日本人が昔から大切にしてきた価値観に対する理解が深まった。
異文化の理解	4	⑤・4・3・2・1	交流の振り返りにおいて、相手との「相違点」「共通点」の観点から整理し、多くの共通点に喜んだ。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	2	5・④・3・2・1	アメリカ修学旅行で培ったコミュニケーション能力を発揮したが、スカイプを通じ語学力の必要性を再確認していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・④・3・2・1	限られた時間で、わかりやすく端的に物事を伝え、プロジェクトを進めることを意識し、相手の立場にたって準備することができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	1	⑤・4・3・2・1	交流相手と現地で直接交流し、温かいもてなしに感激した。校内では、全員が自分の役割ばかりでなく、周囲のサポートを自然に行い、人間関係が深まった。
協働する力 (役割分担・協力)		⑤・4・3・2・1	校内的にはしっかりと協力体制を整えることができたが、相手との役割分担には事務局の援助を必要とした。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	プロジェクトの魅力が強い動機付けとなり、学習や活動全般に対して意欲的に取り組んだ。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・4・③・2・1	短い期間で、伝えたいテーマや価値観を的確に表現することができたが、制作時間をより確保すべきだった。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	相手校の画力の高さと作品の調和に驚き、その努力に対して敬意を持った。